

その人らしい生き方 ～ 心に触れる あたたかい 優しい言葉 ～

2026年7月4日は『その人の想いに寄り添うキーパーソン講座 ～ 本人の想いをキャッチして最期まで伴歩する人 ～』（渋谷区）での講演『がん患者に寄り添うとは 言葉の処方箋 ～ 余計なお節介 vs 偉大なるお節介 相手が苦痛にならない存在になる ～』に赴く。【本講座は、キーパーソン不在の認知症 や がん患者さんの『キーパーソン』『支援員』として、本人の希望をキャッチし、最期まで本人を支え、寄り添う心構えを実践的に学ぶ基礎講座です。本人の想いを実現するために 真のキーパーソンとなるための実践的なスキルを学びます。】& 【講座の特徴：医療保険・介護保険の適用範囲に縛られることなく、具体的なケース教材を基に 実践的なスキルを磨きます。寄り添う力を磨く：本当に大切なのは、こちらの都合の支援ではなく 本人に寄り添うこと。ケアする側の視点から ケアをうける側の視点への 大きな意識変換を学びます。】と謳われている。

7月5日は、山梨県甲州市塩山での『がん哲学外来甲州神金カフェ』（甲州市民文化会館に於いて）に赴く（添付）。

【順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授 樋野興夫先生が、アスペクトを原因とする中皮腫患者専門の外来を担当していた時に、難治を悩む患者が多いことを受け、主治医と患者の隙間を温める役割の必要性を感じたそうです。自分自身または家族、身近な人が がんにかかったときに初めて 死というものを意識し、それと同時に、自分がこれまでいかに生きてきたか、これからどう生きるべきか、死ぬまでに何をなすべきかを 真剣に考えると言われていました。患者本人とその家族の心のケアを目的に発足され、反響が大きく、病院の外に出て“語り合いの場”『メディカル・カフェ』として全国的に広がりました。『がん哲学外来カフェ』はボランティアにより運営されます。そこではがん患者、元がん患者やその家族・遺族、友人らが集まり ひとつのテーブルを囲み、思いを伝え、自由に語り合います。『甲州神金カフェ』では、がんの患者さんだけでなく、ご家族、難病で、歳を重ねて、お互い助け合い、励ましあい、共に過ごす時間を大事にしています。その人らしい生き方を哲学（対話をとおして考える）して、過ごす時間を大事にしていきたいと考えています。辛い気持ちでいる時、家族、友達が苦しい時、よりそい、どんな言葉をかけるのか、たくさんの心に触れる言葉、あたたかい、優しいお話しです。】と紹介されている。

スタッフの皆様の心温まるおもてなしには、ただただ感謝である。

後援 一般社団法人がん哲学外来

参加費無料

がん哲学外来甲州神金カフェ 「番外編・7月5日」

順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授樋野興夫先生が、アスベストを原因とする中皮腫患者専門の外來を担当していた時に、難治を悩む患者が多いことを受け、主治医と患者の隙間を埋める役割の必要性を感じたそうです。自分自身または家族、身近な人ががんにかかったときに初めて死というもの意識し、それと同時に、自分がこれまでいかに生きてきたか、これからどう生きるべきか、死ぬまでに何をなすべきかを真剣に考えると言われていました。患者本人とその家族の心のケアを目的に発足され、反響が大きく、病院の外に出て「語り合いの場」「メディカルカフェ」として全国的に広がりました。

「がん哲学外来カフェ」はボランティアにより運営されます。そこではがん患者、元がん患者やその家族・遺族、友人らが集まりひとつのテーブルを囲み、思いを伝え、自由に語り合います。甲州神金カフェでは、がんの患者さんだけでなく、ご家族、難病で、歳を重ねて、お互い助け合い、励ましあい、共に過ごす時間を大事にしています。その人らしい生き方を哲学（対話をとおして考える）して、過ごす時間を大事にしていきたいと考えています。

2026年7月5日 日曜日 13時30分～15時30分

甲州市民文化会館 山梨県甲州市塩山上塩後240番地

多和田真人先生



塩山市民病院前院長
「人生何があろうとそれでよし！
～一生幸せでいられる秘訣～」
関東地域の医療に長年従事し
医師として考えてきたこと、
先生に最期を看取ってほしいと願
った患者さんのことなど、
命をみつめてきたお話しです

第一部

多和田真人先生
樋野興夫先生

第二部

絵本の朗読
語り合い
「人生の贈り物・大切
な人からの贈り物」

樋野興夫先生



がん哲学外来カフェ提唱者
一般社団法人がん哲学外来
「言葉の処方箋」
辛い気持ちでいる時、家族、友達
が苦しい時、よりよい、どんな言
葉をかけるのか、たくさんの方に
触れる言葉、あたたかい、優しい
お話しです

主催 TAYA研究会
中村山喜 砂田ひとみ 飯島久子
宮野里美 百瀬美紀
がん哲学外来市民学会
認定コーディネーター 中村山喜

お問い合わせはこちら

メールでお問い合わせください 中村
tayaken2019@gmail.com

☎090-9824-8395